



第96号

令和3年4月1日発行

はちおうじ市民活動協議会だより

はちおうじ志民塾 第12期卒塾式を終えて

志民塾担当理事 奥村 暁

令和3年2月20日(土)労政会館にて、第12期の12名の塾生が、市長から直接手渡しされた修了証を手に巣立っていきました。

昨今の今頃は、本来は華々しいオリンピックイヤーを迎えるはずでしたが、新型コロナウイルスが急速に拡大し緊急事態が宣言されるに及んで、あちこちの機能がストップすることになり、志民塾も、開催できるのかどうかを含めて、手探りで進めなければならない状態でした。そのような中でも準備は着々と進められ、講座日程の確定とパンフレットの作成が完了し、7月に塾生の募集を開始するまでに至りました。

9月から半年間の志民塾は、結果的には奇跡的に当初の予定通りに進めることができましたが検温や窓の開け放しを行うなどの感染拡大防止対策は不可欠でしたし、外部への訪問の際は、引率の人数を厳しく制限するなど例年とは異なる風景も見られました。講座の方は、講師の先生方の熱心なご指導には、変わらぬものがあり、塾生にも毎回新たな視点が加えられていたように思います。講座後のアンケートで高評価を頂いていることから、塾生自身が志民塾を通して様々なことを学び成長してきたことがうかがえます。

唯一ままたまなかったことがあるとすれば、講座の後のアフターのことで。例年であれば、毎回の講座の後に、「有志」が場所を変えて、喧々譁々の議論を交わしていたのですが、今回はばかりはそれは叶いませんでした。それでも、別の形でつながりが出来つつあるようで安心しています。この困難な時期に入塾し巣立っていく彼ら4人、彼女ら8人の今後の活躍に大いに期待したいと思います。



* 卒塾証書授与



* 卒塾生、石森市長、来賓者の方々の集合写真



* 卒塾生より塾の感想や今後の活動の志スピーチ

新年度にむけてと総会のご案内

理事長 岡崎 理香



東京では桜が満開になりました。コロナ禍での2度目の春です。昨年は新年度スタートとともに緊急事態宣言が発出され、不安がいっぱいの新年度だったことを記憶しています。今年も

* 令和3年度 定時総会のお知らせ *

令和3年5月22日(土) 14:00~15:30
八王子市生涯学習センター(クリエイトホール)
10階 第2学習室

- ZOOM 出席も予定しております
- * 議案書は、5月中旬に発送します

先日2度目の緊急事態宣言が解除されたばかりで、ウィズコロナは依然として変わりはありませんが、この一年の市民活動の変化は大きなものがありました。いろいろなイベントをオンラインというツールで行うことをみんなで学びあいそのことによって諦めずに出来るんだという自信も生まれました。NPO活動もひとまわり強くなって満開の桜を愛でる余裕もある新年度となりました。今年度もよろしく願いいたします。

令和2年度

「第24回お父さんお帰いなさいパーティー」

オンライン開催

リレートークの4人のご紹介



吉永 鴻一氏

オトパは2000年に武蔵野市で始まる。目的は退職者の生きがいづくり、団体個人の横繋ぎ、男女格差の縮小。2003年2月始めに思い立ち、3月末に市民の実行委員会によりオトパを八王子で初めて開催。(八王子オトパの誕生)これからも、各地域で分野・年齢を超えた交流を続けたい。



植村 昇氏

第1回目のオトパに参加した。市民活動支援センターに関わり、その後、故岩田さんをオトパに誘う。彼は、オトパをライフワークとし、「オトパ」を季語に例え「あの人に逢える気がしてオトパ会場」と詠んだ。

私は、今、妻との時間を大切にしています。

毎年、出展団体として参加。センター元気もオトパと共に成長してきた。個人としては司会や交流会での歌の締めを担当。今所属している国際協会で、学生さんたちのZoomによる中継に感動。これからはZoomとも仲良くなっていきたい。



伊藤 涼子さん

第20回オトパに一般参加。そこで、センター元気と出会い、好きなフルーツと歌で訪問ボランティアを始める。伊藤さんから教わった「一期一会」を大切に活動をしてきた。これからはコロナ禍、「須藤誠の今日の一曲」としてZoom・YouTubeで毎日発信できればと(勉強を始めたい)。

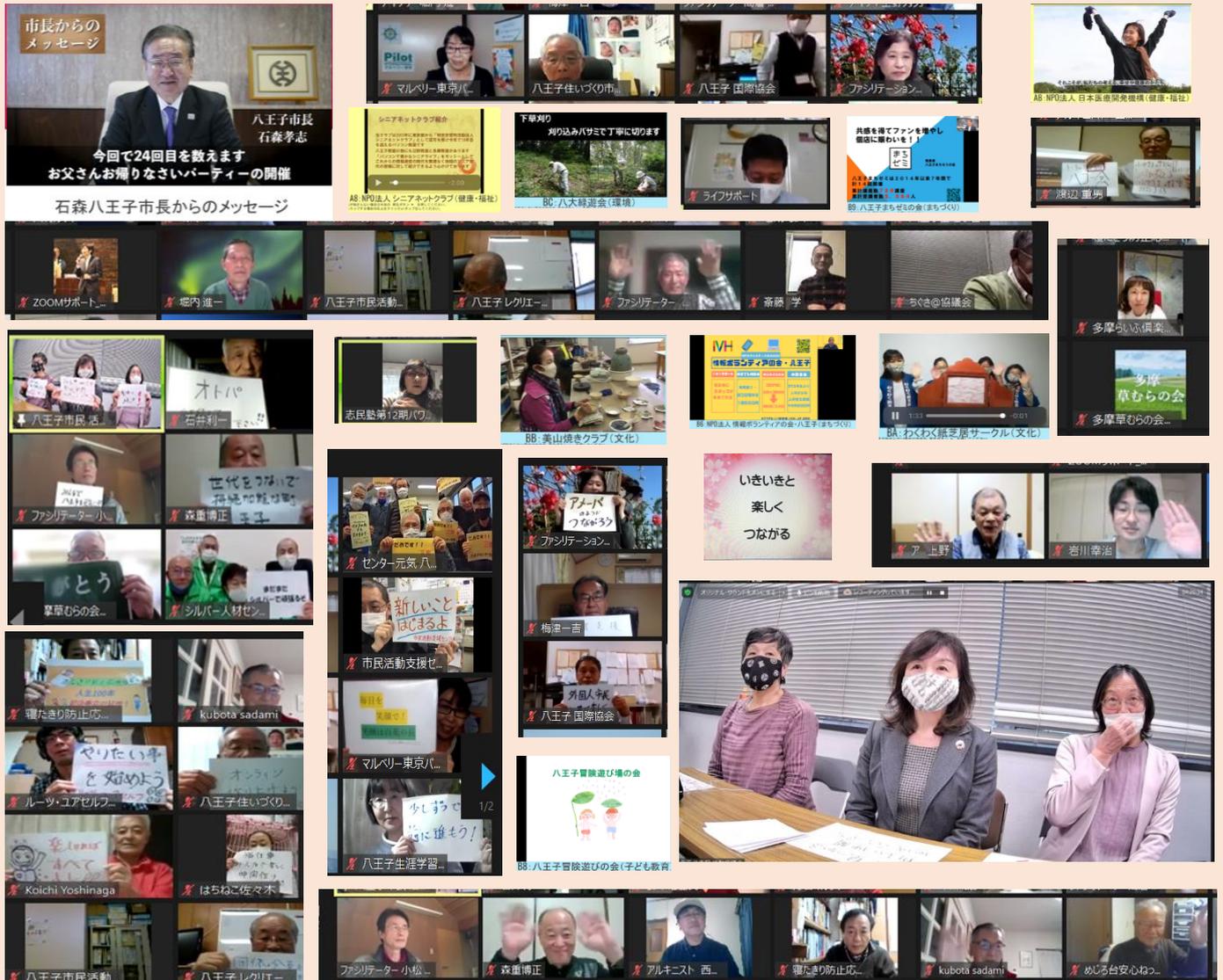


須藤 誠氏

当日の様子

団体紹介コメント、動画で紹介、オトパを終えての一言メッセージ

八王子市民活動協議会ホームページのオトパページをご覧ください





今、コロナ禍で、それぞれの市民団体が十分な活動ができていない状況にあります。今回の「オトパ」も本来なら皆様と顔と顔を合わせ、言葉を交わす、そんな「オトパ」でありたいと願いましたが、叶いませんでした。

参加団体、実行委員の皆様のおかげで、なんとかオンラインという方法で開催にこぎつけることができました。課題はありますが、これからのイベント開催に対する一歩となったのではないのでしょうか。団体のPRビデオを今後も活用して、参加団体の相互理解を深める交流が発展することを、そして、団体と個人を繋ぐ新たな出会いがあることを願っています。

第24回オトパ実行委員長 浅野 里恵子



「お父さんお帰りなさいパーティー」から「地域デビューパーティー」へ「シニア」から「多世代」へ

2003年から始まった「お父さんお帰りなさいパーティー(通称オトパ)」。退職して地域に戻ってきたお父さんに、市民活動に参加して地域で生き生きと過ごしていただくきっかけを提供したいと始まりました。

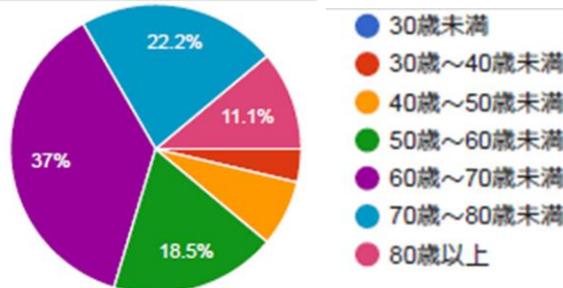
それから18年。南大沢でも5回開催され、令和元年は、コロナ禍で中止、今年は完全オンライン開催。そしていよいよ2021年度からは名称も「地域デビューパーティー」と変わり、多世代市民を対象にした市民活動デビューの場づくりに移行します。老いも若きも女性も男性も、集まって一緒に自分も地域も生き生きとさせていきましょう。実行委員も募集します。よろしく願いいたします。

第24回オトパ事務局長 内野洋子

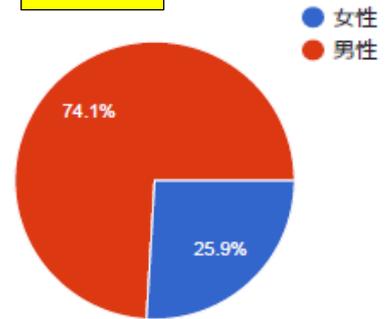
第24回オトパ概要

- 参加団体数31
- 瞬間最大参加者数66
- アンケート数27

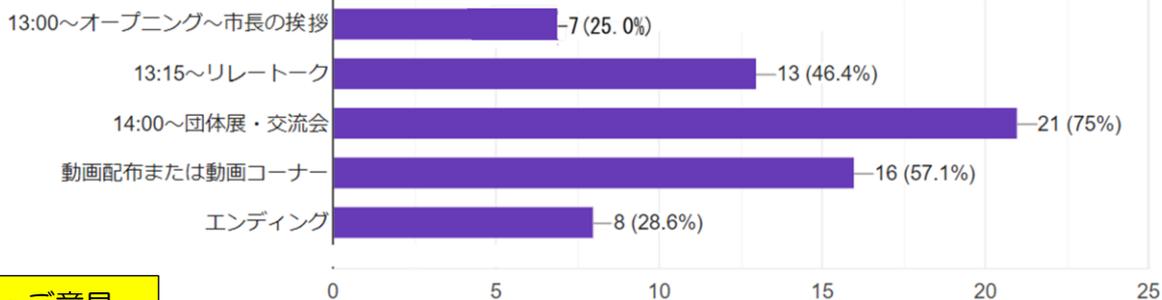
アンケート回答者年齢別



男女別



有益だった企画(複数回答可)



ご感想・ご意見

- 参加者団体に偏りがある
- 多様な活動があるのでいろいろ見つかるかもしれません。
- コロナ禍の中イベント実現は大変だったと思います。参加させていただき誠にありがとうございました。
- ZOOMでの開催は初めてでしたが、挑戦したことにとっても意味があったと思います。楽しかったです。
- 自分に合った活動が見つかる可能性が大きい。
- オンラインは、自宅からというのが負担がなくて良いので、以後ハイブリッドでよろしくです。
- 早くリアルイベントが開催出来たら・・・と思っています。
- オンラインでの開催に手応えを感じた。リアルに越したことはないが併用していければ良いのではと思う。
- コロナが終息したら、従来通りが望ましいと思う。

*アンケートのご協力ありがとうございました。

会員より活動内容のご紹介

マルベリー東京パイロットクラブ

代表 川西 てつ江

パイロットクラブは 1921 年アメリカで誕生し、日本では 1951 年当時のオピニオンリーダー市川房枝氏、神近市子氏、藤田たき氏らが東京パイロットクラブを設立しました。今年 10 月には 100 周年を迎えます。

マルベリー東京パイロットクラブは、2015 年八王子に 2 つ目のクラブとして、障がいを持たれる方々がいきいきと暮らせるよう地域社会に貢献したいと願い活動を始めました。障害のある方が主役のマルベリーハートフルフェスタ、全国の姉妹クラブが一斉に開催するチャリティーウォーク、「一生かけて脳を守ろう！」を掲げ学童保育所などでの紙芝居ブレインマインダー活動が年間行事です。

設立 5 周年を記念して開催した「富永祐輔 Xmas チャリティコンサート」の収益で、様々な団体に楽器や衣装、パソコン、マスク、消毒液をお届けすることが出来ました。昨年はハートフルフェスタも開催が危ぶまれましたが、皆様からの「中止にしないで！」との声に背中を押された初めてのリモート開催に、1200 以上の視聴回数を記録！支えて下さった皆様に心から感謝しています。コロナ禍という大きな渦の中で私たち会員も、社会との新しい関わり方を模索し、支えあっていきたいと願っております。https://mulberry-pc.jimdofree.com/

①



②



③



④



- ①2019 ハートフルフェスタ
- ②2019 チャリティーウォーク
- ③2020 贈呈式
ぽこあぽこへハンドベル
- ④2020 贈呈式
ルーツ・ユアセルフへパソコン

ファシリテーション勉強会「アンディ」

代表 小林 万里子

昨年夏、「ファシリテーション」を勉強したい仲間と勉強会を立ち上げました。と言っても「ファシリテーションって何？」と言われる方も多いかと思います。

ファシリテーションとは、皆で集まって何かを決めたりするとき、うまくことが運ぶよう舵取りをすること。その役割を担っているのがファシリテーター（進行役）です。ファシリテーションには、メンバーの知恵を最大限に引き出し、納得できる話し合いを行うための様々な手法があります。全員が議論のプロセスに対等に参加する「ワークショップ」を行い、皆で一緒に考え、一緒に作り上げていくのでチーム力が上がります。つまり、トップダウンの組織運営とは真逆の考え方です。どうすればもっと多彩なアイデアが出るのか、自分ゴトとして考えられるようになるのか、合意形成がうまくできるようになるのかなど、皆さんの様々な悩みに応えるヒントが見つかるかもしれません。

私たちは講座を企画・実践する中で、ファシリテーションの「スキル」と「マインド」を学び合う仲間の輪を広げていきたいと思っています。4月18日（日）13時半～16時半、クリエイティブホールで『「場」をあたためるアイスブレイク』というテーマで講座を行います。ご興味のある方はぜひご連絡下さい。

「アンディ」連絡先：090-1185-2186、andy802faci@gmail.com（小林）



* 皆でアイデア出しをするワークショップの様子



協議会のマスコットのハチケロたちです。
名前が決まりました。

「モモ、ケロ、キキ」ピンク、緑、黄色となります。

はちおうじ市民活動協議会だより NO.96 2021年4月1日発行

NPO 法人八王子市民活動協議会（理事長：岡崎理香）

〒192-0083 八王子市旭町 12-1 ファルマ 802ビル 5階 TEL/FAX：042-646-1626

E-mail：kyougi@shiminkatudo-hachioji.jp

<https://www.shiminkatudo-hachioji.com/>

ホームページはこちら

